

学びあい、つながって、あなたと守る
辺野古、憲法、いのち。

仲村みおさん来広

沖縄の声が聞こえていますか？

安倍政権は、沖縄県民の「民意」を無視し、法をゆがめてまで美しい辺野古の海に土砂を投入し、壊し続けています。

民主主義の危機は沖縄だけで起きているわけではありません。岩国においても、住民の反対の声を聴かず、厚木から空母艦載機部隊を移駐させ、アジア最大級の軍事基地となりました。

このように安倍政権は、米軍だけではなく自衛隊も一体として軍備を増強し、平和憲法を変えようとしています。

沖縄県議会議員として、沖縄県政の中心に立ち、「原発に頼らない暮らし、労働が正当に評価される社会、すべての命が暴力から守られる明日は、私たちの自身の中にある」と語る仲村みおさんから、沖縄の声をききたいと思います。

私たちは、学びあい、つながって、いのちをあとまわしにしない道を選びましょう。

とき 2019年6月15日（土）18時～20時

ところ 広島弁護士会館3階ホール

〒730-0012 広島県広島市中区上八丁堀2-7-3

*資料代 500円

*どなたでも参加できます。

*主催者 辺野古新基地建設について考える会



仲村未央（なかむら・みお）

1972年沖縄県沖縄市生まれ。琉球大学卒。琉球新報記者として米軍に関わる事件事故や爆音被害、日米地位協定など住民の命に直結する基地問題を追う。政界に転身し、沖縄市議会議員2期、沖縄県議会議員（現在3期）。沖縄平和運動センター副議長、自治体議員立憲ネットワーク共同代表、沖縄憲法9条連共同代表。

お問合せ：730-0803 広島市中区広瀬北町3-11
和光広瀬ビル2階2-ロ I 女性会議気付
辺野古新基地建設について考える会
080-1632-4383（きだ）

沖縄県名護市辺野古の沿岸部。護岸で囲まれた区域への土砂投入が続いている=5月13日(小型無人機で撮影) 沖縄タイムス(2019.5.14)

